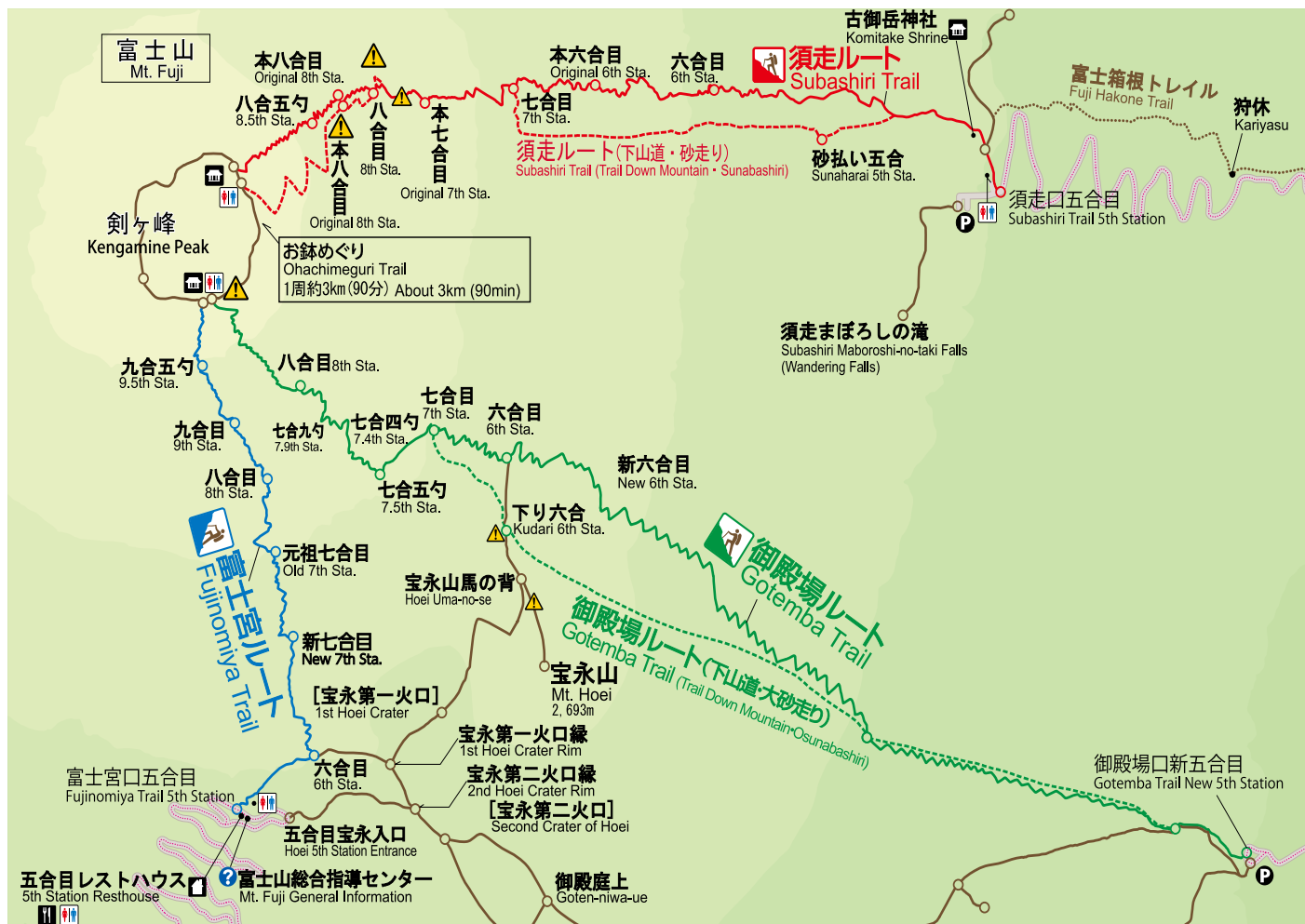


この夏は富士登山にチャレンジ

# ～異なる魅力を持つ3つの登山道～

富士宮口登山道・御殿場口登山道・須走口登山道

富士山が世界遺産に登録されてから1年がたとうとしています。富士山には代表的な登山道が4つあります。今回は、富士山ネットワーク会議に加盟している4市1町（裾野市、富士宮市、富士市、御殿場市、小山町）に現在ある登山道と、かつて存在した登山道などを紹介します。登山者は今後ますますふえる見込みです。登山マナーを守り、みんなで気持ちよく富士登山をしましょう。



# 富士宮口登山道

山頂まで最も距離が短い登山道

所要時間／登り▼約4～5時間、下り▼約2～3時間  
 山小屋の数／8軒

## 登山者と下山者で交流が生まれる富士宮口登山道

富士山頂までの距離が最も短い登山道です（五合目の標高が、ほかの五合目よりも高いところにあるため）。また、山小屋が平均的に分布し、休憩しやすいことも魅力です。

登り・下りが同じ道であるため、双方向に登山者がいて、登山者同士のコミュニケーションが生まれます。また、富士山表富士宮口登山組合を中心に、行政と民間が一体となって、安心・安全な登山になるように取り組んでいるので、事故が少なくなっています。

### アクセス／

- ① 東名富士IC（インターチェンジ）または新東名新富士IC↓西富士道路↓国道139号↓富士山スカイライン
- ② 東名御殿場IC↓富士山スカイライン

### バス

JR新富士駅から、JR富士駅、JR富士宮駅を経由する登山バス（富士急静岡バス）

※JR新富士駅からは片道2時間15分程度。

**駐車場**／マイカー規制の期間以外は、富士宮口五合目（富士山スカイライン終点）に350台※マイカー規制の期間中は「水塚公園」駐車場へ。

**問い合わせ**／富士宮市観光課

☎0544(22)1155



富士山表富士宮口登山組合長  
 元祖七合目 山口山荘  
 山口 芳正よしまささん

山小屋には、「おもてなし」や、「見える景色の違い」など、山小屋ごとの個性があります。また、「山小屋」と「お客さん」と「富士山」が一体となって流れる時間はすてきですね。毎年、山小屋に着いてからの日々は、感動の毎日です。さまざまなお客さんに出会うこと、そのお客さんに無事下山してもらえ、それが私の幸せです。

最近では、富士宮口登山道での弾丸登山は収まってきました。しかし、バイオトイレが不足しつつある問題や、お盆や週末に増加する登山客のゴミ捨て、夜間の騒音など、マナーの守れない登山者の問題に対策を講じていかなければなりません。

# 富士山村山道

むらやまみち

現在、富士市には、富士山頂への登山口はありませんが、かつて東海道から村山口登山道をつなぐ道の一つとして「村山道」がありました。

江戸時代、多くの人々が登拝（富士山に祀られる神仏を参拝すること）を目的に、富士山を目指しました。中世から富士山信仰の拠点だった富士宮市村山の興法寺（現在の村山浅間神社）は、こうした登拝者のため、江戸時代後期に、東海道吉原宿から直接興法寺に至る村山道を設定し、ルートを示した絵図を盛んに発行したり、道沿いに石造の道しるべを置いたりしました。明治時代になると、神仏分離令による興法寺の解体や、村山を経由しない新登山道の設置によって村山道は衰退していき、その機能を失いました。

しかし、現在も富士市内には、村山道の道しるべが5基（大淵地区の辻畑・横山・大峯・石ノ前・覆盆子平）、富士宮市内には、2基（横沢、栗倉）残っていて、今でも当時の面影をうかがい知ることができます。村山道は開発などの経年の変化により、かつての状態をとどめていませんが、これらの道しるべから推定されるルートをたどることができそうです。

また、富士市では、今年度から村山道とは別に、富士市の特性を生かした富士山体験メニューとして、海拔0メートルから山頂まで楽しみながら歩くことができる「仮称」富士山観光登山ルート「3776」づくりに向けた調査を実施します。調査結果は、来年度に公表する予定です。

**問い合わせ**／富士市教育委員会文化振興課

☎(55)2875



▲駿河国富士山絵図



▲村山道の道しるべ（覆盆子平）